

カード払出付両替機

TXC-103

取扱説明書

株式会社 **TOSEI**

はじめに

このたびは弊社製品をお買上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい操作方法を十分に理解されたうえでご利用ください。
お読みになった後も大切に保管していただき、分からないことがあったときにお役立てください。

おことわり

※)本書の内容および製品の仕様、デザインは予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

TXC-103 の特徴

- カード払出機能を搭載。
- TOS ネットシステムに接続し、遠隔地から返金が可能。
- 1000 円紙幣と 500 円硬貨を、100 円硬貨に両替。
- 100 円硬貨は約 6000 枚の大容量。
- RoHS 指令に対応。
- 盗難警報装置付。

目次

| | | |
|----|-----------------|----|
| 1 | 安全上の注意について..... | 3 |
| 2 | 設置について..... | 6 |
| 3 | 各部の名称と働き..... | 8 |
| 4 | 両替部の操作..... | 12 |
| 5 | 両替管理機能..... | 15 |
| 6 | カード部の操作..... | 17 |
| 7 | カード部管理モード..... | 19 |
| 8 | 日常のお手入れ..... | 22 |
| 9 | ユニットの取り外し方..... | 27 |
| 10 | 異常が発生した時は..... | 31 |
| 11 | 保管と廃棄について..... | 34 |
| 12 | 保証について..... | 34 |
| 13 | 一般仕様..... | 35 |

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全にお使いいただくために以下の絵表示を使用しています。
その表示と意味は次の通りです。

| | |
|---|--|
|  警告 | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | 誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

図記号の例

| | |
|---|-------------------------|
|  | 禁止を表します。 |
|  | 分解しないでください。 |
|  | 必ず指示に従い、行ってください。 |
|  | 電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。 |
|  | 必ずアース線を接続してください。 |
|  | 感電注意を表します。 |
|  | 指を挟まれないように注意。 |

1 安全上の注意について

安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害を未然に防ぐために、守っていただきたい事項が記載されております。

|  警告 | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">● 屋内専用製品ですので、水をかけたり、水洗いしたりしないでください。 感電や故障の恐れがあります。 |  |
| <ul style="list-style-type: none">● 設置又は移動再設置は、専門の自動販売機設置業者またはお買上先へ依頼してください。 不完全な設置は、転倒事故、感電、火災、火傷の恐れがあります。● 設置に際しては、消防法、電気事業法などを順守してください。 違法な設置は、事故発生の恐れがあります。● JIS 基準や業界自主基準に準拠した設置をしてください。 不完全な設置は、転倒事故、感電、火災、火傷の恐れがあります。 |  |
| <ul style="list-style-type: none">● 安全のため、アースを必ず接続してください。 アースが不完全な場合は、感電の恐れがあります。● アースは、ガス管や水道管、電話回線のアース、避雷針などに接続しないでください。 感電や火災の恐れがあります。 |  |
| <ul style="list-style-type: none">● 濡れた手で電源プラグやスイッチを操作しないでください。 感電の恐れがあります。● 製品内部の電気部品は、雨水や清掃時の水などで濡れないようにしてください。 水で濡れると感電の恐れがあります。 |  |
| <ul style="list-style-type: none">● 製品に異常を感じた時は、必ず電源プラグを抜くか電源スイッチを切り、 専門の修理業者またはお買上先に連絡してください。 そのまま放置すると事故発生の恐れがあります。 |  |
| <ul style="list-style-type: none">● 製品が災害等で水没した場合、電気部品・配線は必ず新しいものと交換してください。 交換しないと火災、感電の恐れがあります。 |  |

安全のために必ずお守りください

注意

| | |
|---|---|
| ● 製品は取扱説明書等記載の温度・湿度条件で使用してください。 条件外で使用すると事故の原因になります。 |  |
| ● 製品の上に物を置かないでください。 水がこぼれたり落下することにより、火災、感電、けがの原因になります。 |  |
| ● 変形した硬貨は収納しないでください。 事故の発生原因になります。 |  |
| ● 単相 100V で電流容量 15A 以上の専用コンセントを使用してください。 延長コードの使用やタコ足配線は、火災の原因になります。 |  |
| ● 設置場所の据付面のガタツキや固定金具のゆるみなどを定期的に点検してください。異常がある場合は、専門の自動販売機設置業者またはお買上先へ修繕を依頼してください。 不完全な設置状態のまま使用すると、転倒事故の原因になります。 |  |
| ● 引出し部に他のものを乗せたり、よりかかったりしないでください。 事故の発生原因になります。 |  |
| ● 扉や引出し部を閉めるときは指をはさまないように注意してください。 けがの原因になります。 |  |
| ● 扉や引出し部を開けたままにしないでください。 けがの原因になります。 |  |
| ● 動作中のホッパーに触れないでください。 けがの原因になります。 |  |
| ● ホッパーのカウントセンサには絶対手を触れないでください。 払出し枚数が狂う原因になります。 |  |
| ● 内部に充電部があります。カバーを開けるときは、必ず電源スイッチを切ってください。 電源スイッチを切らずにカバーを開けると感電の原因になります。 |  |
| ● 電源プラグの脱着は、プラグの部分を持って行なってください。 火災の原因になります。 |  |

安全のために必ずお守りください

注意

| | |
|--|---|
| ● 製品のドアを開く際は、通行人の妨げにならないようにしてください。 注意して開かないと通行人のけがの原因になります。 |  |
| ● 修理は、専門の修理業者またはお買上先へ依頼してください。 爆発や火災の恐れがあります。 |  |
| ● 貨幣の詰り除去などの場合は、取扱説明書等の記載内容に従って操作してください。 記載内容以外の操作をすると事故の発生原因になります。 |  |
| ● 製品内部の清掃などを行う場合は、必ず電源スイッチを切ってください。 電源スイッチを切らずに作業すると感電、けがの原因になります。 |  |
| ● 製品の分解はしないでください。 事故の発生原因になります。 |  |
| ● 電源プラグ・コンセントは定期的に清掃してください。また、プラグの刃の部分は 確実にコンセントに差し込んでください。 汚れや差込み不足は火災の原因になります。 |  |
| ● 製品の汚れを取る時は、シンナー、ベンジンなどの化学薬品を使用しないでください。 事故の発生原因になります。 |  |
| ● 長期間使用しないときは、電源プラグを必ずコンセントから抜いておいてください。 事故の発生原因になります。 |  |
| ● 製品の保管時は、必ず施錠してください。 施錠しないと事故の発生原因になります。 |  |
| ● 保管時は、製品を積上げないでください。 転倒事故、けがの原因になります。 |  |
| ● 製品を廃棄する場合は、金銭ユニットを取り外し粉碎等の適切な処理後 廃棄してください。 金銭ユニットの流出は偽造犯罪の原因になります。 |  |
| ● 製品を廃棄する場合は、錠前を破棄してください。 破壊しないと事故の発生原因になります。 |  |

2 設置について

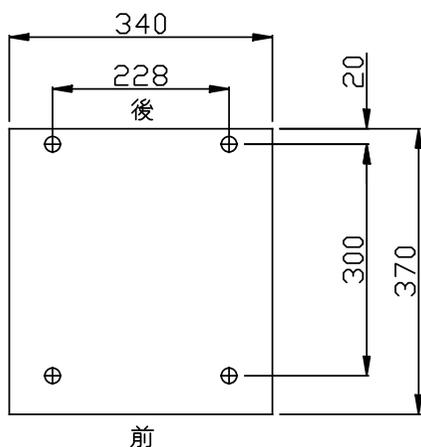
警告

- 屋内専用製品ですので、水をかけたり、水洗いしたりしないでください。
感電や故障の恐れがあります。
- 設置は専門の自動販売機設置業者またはお買上先へ依頼してください。
不完全な設置は、転倒事故、感電、火災、火傷の恐れがあります。
- 設置に際しては、消防法、電気事業法などを順守してください。
違法な設置は、事故発生の恐れがあります。
- JIS基準や業界自主基準に準拠した設置をしてください。
不完全な設置は、転倒事故、感電、火災、火傷の恐れがあります。

注意

- 製品の傾きが 1° 以内になるよう、平坦な床面に設置してください。
 - 下記の場所では使用しないでください。
機能を狂わす原因になります。
- ①電源電圧の変動が激しい場所。
 - ②山岳地で雷による停電が多い場所。
 - ③直射日光が当たる場所。
 - ④チリ、ほこりが多い場所。
 - ⑤製品に水がかかる場所。
 - ⑥温泉地に多い、硫化水素や二酸化イオウが漂う場所。

2.1 アンカーボルトによる固定



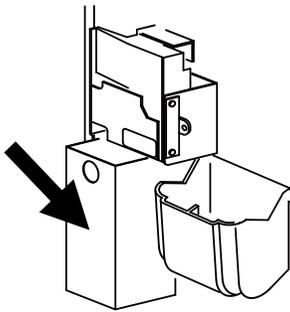
1. 図に示す位置にアンカーホールを開けてください。
2. アンカーボルトを打ち込んでください。
3. 製品を設置位置に移動してください。
4. 製品のドアを開き、内側からボルトで固定してください。

- 推奨アンカーボルト
心棒打ち込み式
UNIKA C-1080×4 カ所
- 推奨ドリル径
10.5mm～11mm

2.2 固定後の作業

管理者名
連絡先住所
連絡先電話番号

自動販売機統一ステッカー



コインボックス

警告

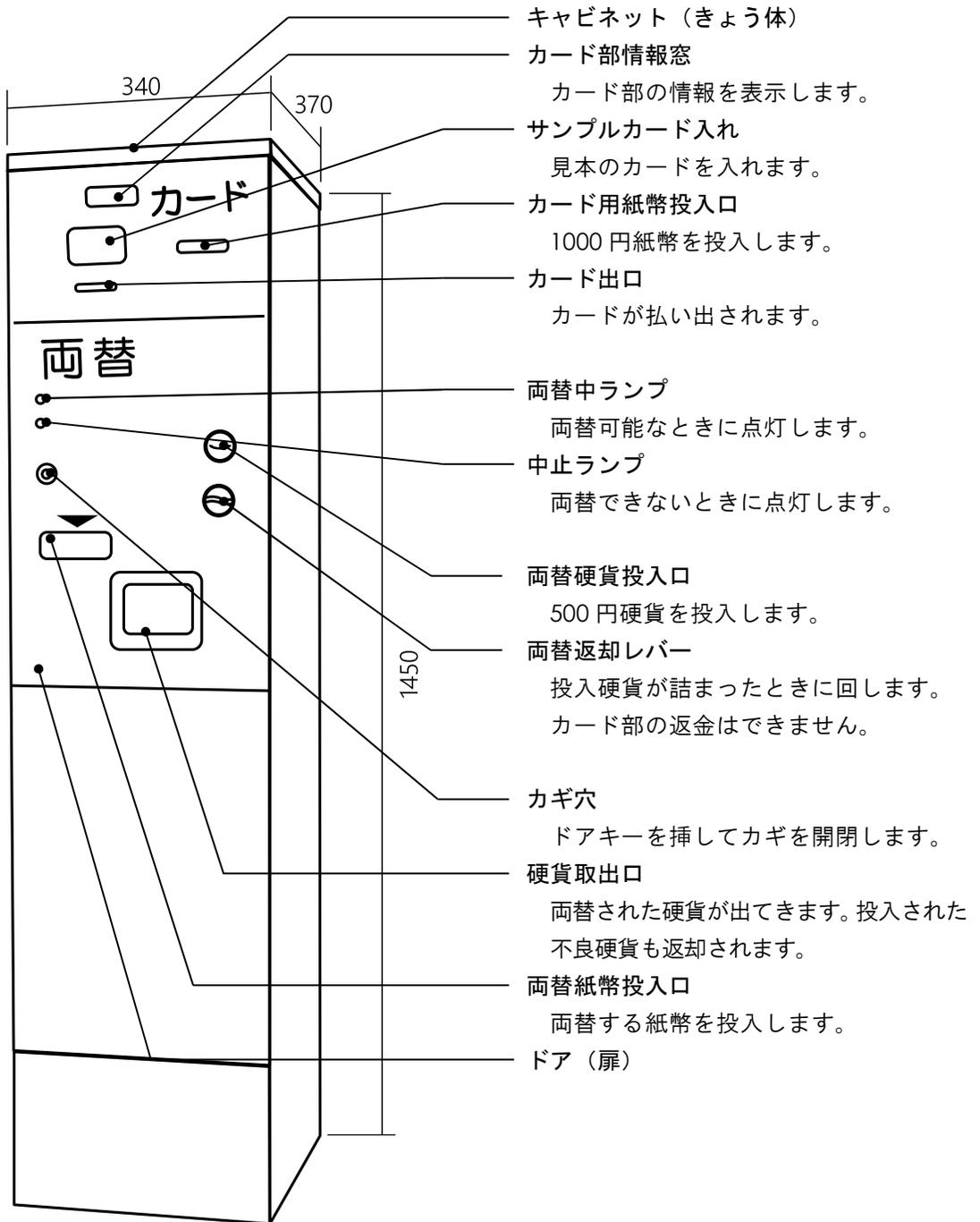
- 安全のため、アースを必ず接続してください。
アースが不完全な場合は、感電の恐れがあります。
- アースは、ガス管や水道管、電話回線のアース、避雷針などに接続しないでください。
感電や火災の恐れがあります。



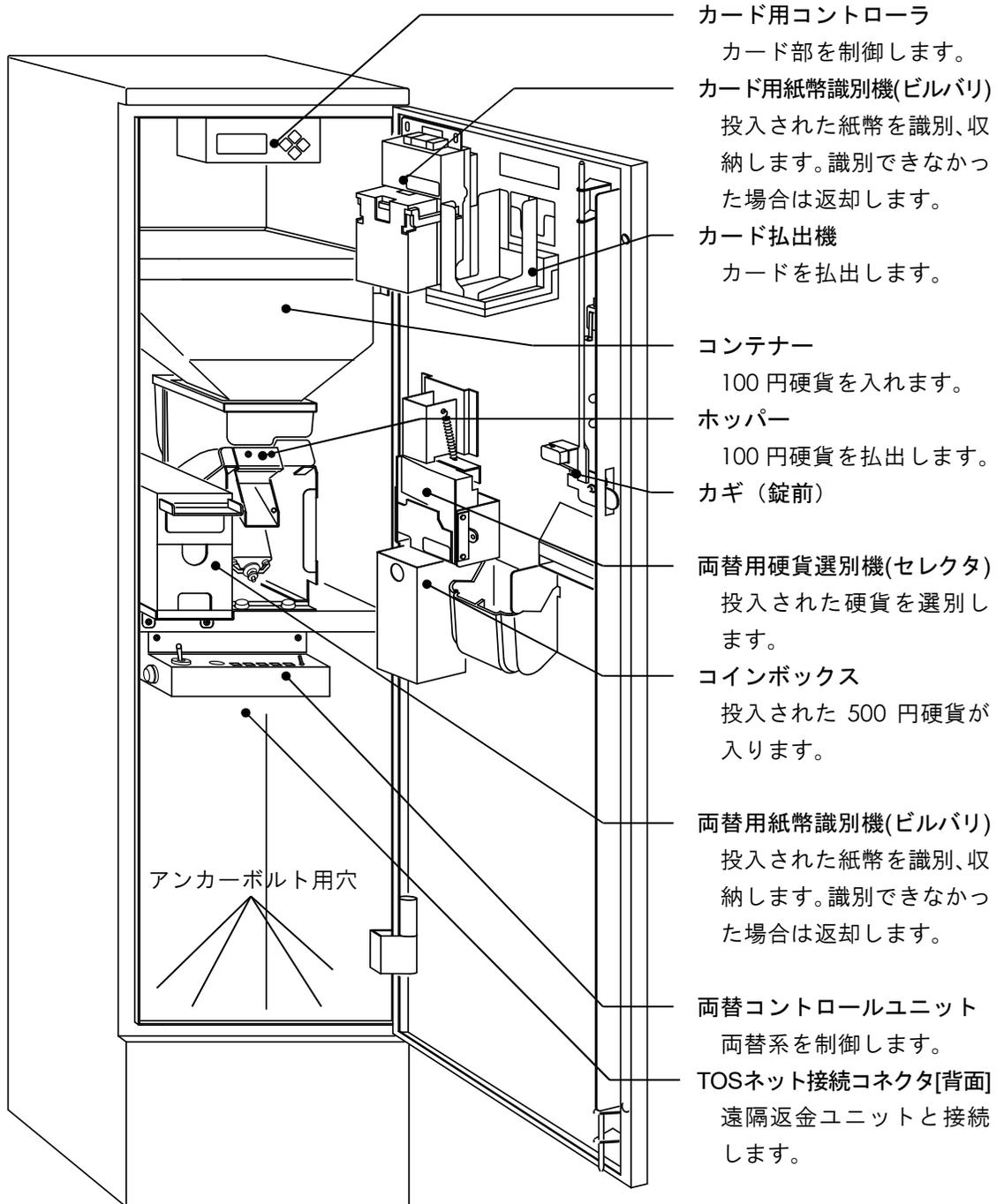
1. アース線を接続してください。
2. 製品についている輸送用テープを全部はがしてください。
3. 統一ステッカーに必要な事項を記入し、製品の見やすい場所に貼ってください。
4. コインボックスを図の位置に取り付けてください。
5. 輸送時の激しい衝撃や振動で構造上の異常がないか点検してください。
 - ①キャビネット外周にへこみ等がないか。
 - ②ドアのカギが容易に動くか。
 - ③ドアの開閉が滑らかか。
 - ④各取付けユニットにゆるみやズレ等がないか。

3 各部の名称と働き

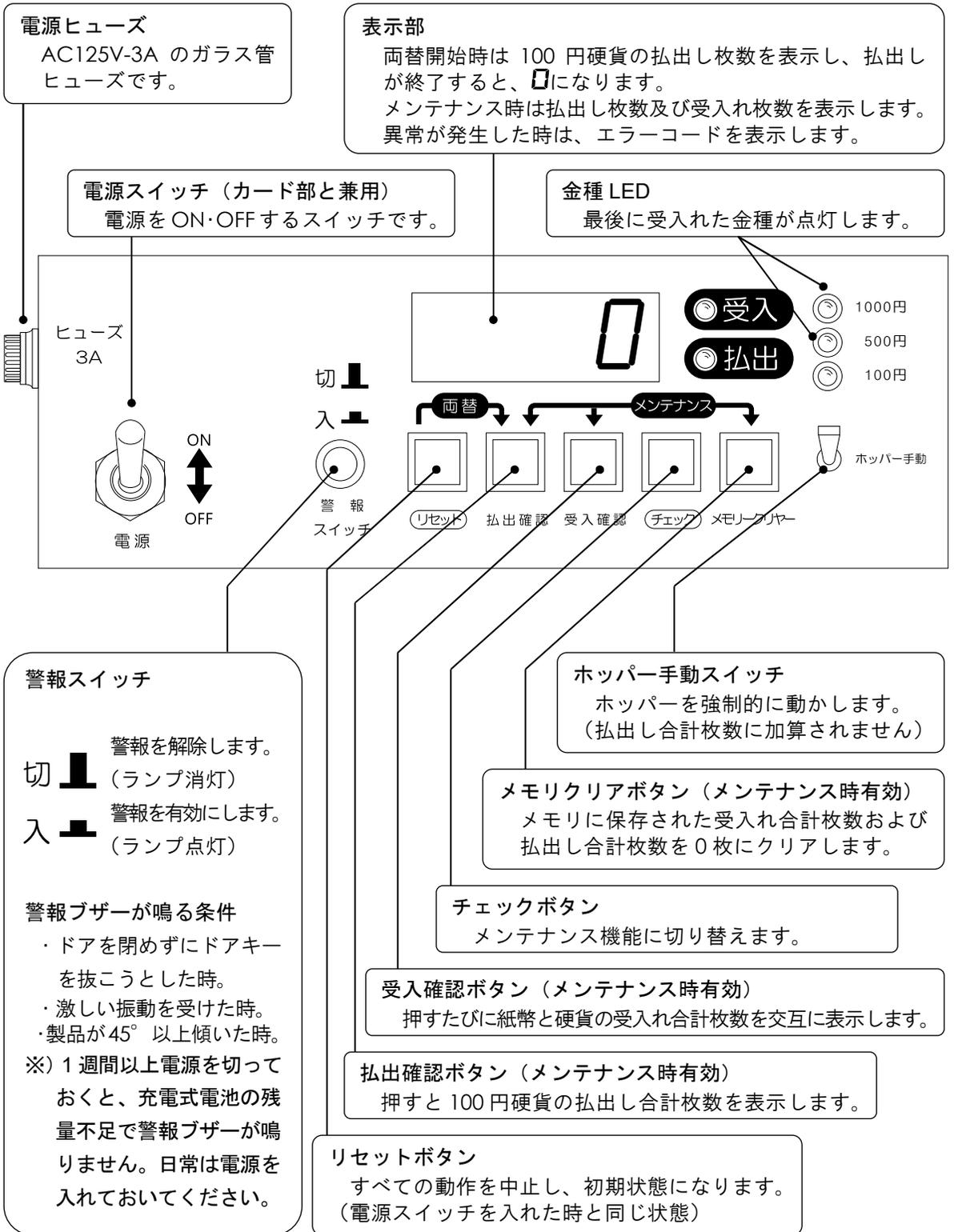
3.1 正面



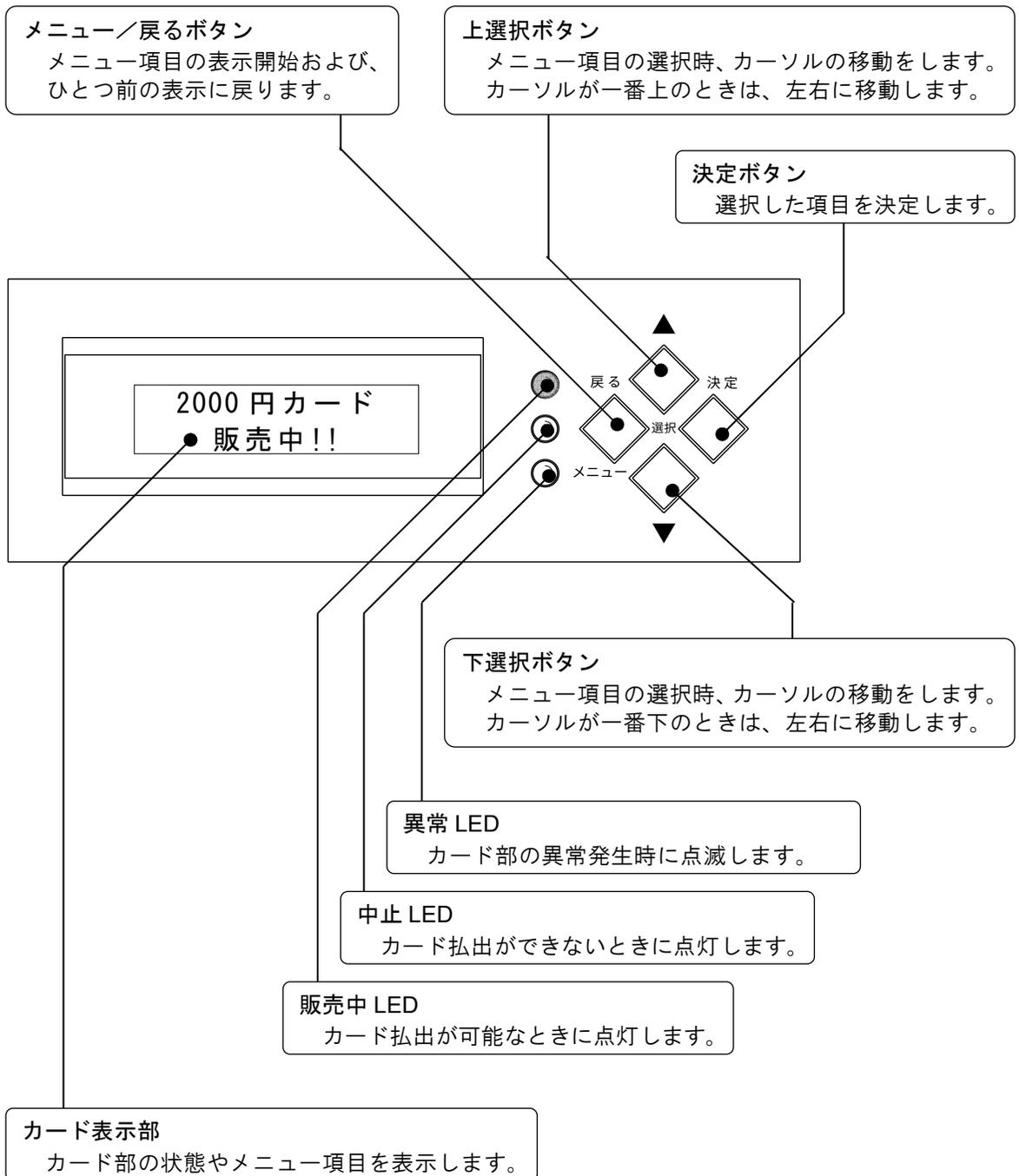
3.2 内部



3.3 両替コントロールユニット



3.4 カード用コントローラ



4 両替部の操作

4.1 両替の始め方

1. ドアキーでカギを外し、ドアを開けてください。
2. コンテナに 100 円硬貨を入れてください。
※) 硬貨は最低 100 枚以上入れてください。
硬貨が足りないと、エラーコードを表示し両替中止になります。
※) 硬貨は約 6000 枚まで入れられます。
これ以上は入れないでください。硬貨の重さでホッパーが動作しなくなります。
※) 硬貨包装紙、輪ゴム、マッチ棒などの異物を入れしないでください。故障の原因になります。
3. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
4. 電源スイッチを入れてください。
・表示部が下図のようになります。(☞)



- ・10 秒後、が表示されて両替が可能になります。



5. 表示のを確認してからドアを閉めてください。
※) 異常がある時はエラーコード(E-xx)を表示します。エラーコード表に従って、異常を取り除いてください。
6. カギを掛けて、ドアキーを抜いてください。

4.2 両替終了の仕方

1. ドアキーでカギを外し、ドアを開けてください。
2. 次項に従って、貨幣を回収してください。
3. 電源スイッチを切ってください。
4. ドアを閉めて、カギを掛け、ドアキーを抜いてください。

警告

- 濡れた手で電源プラグやスイッチを操作しないでください。
感電の恐れがあります。



注意

- ドアを開く際は、通行人の妨げにならないようにしてください。
通行人のけがの原因になります。
- 変形した硬貨や異物を投入しないでください。
故障の原因になります。
- 单相 100V で電流容量 15A 以上の専用コンセントを使用してください。
延長コードの使用やタコ足配線は、火災の原因になります。



☞ ワンポイント

- 表示のときに、払出確認ボタンを押すと、すぐに両替が可能になります。

注意

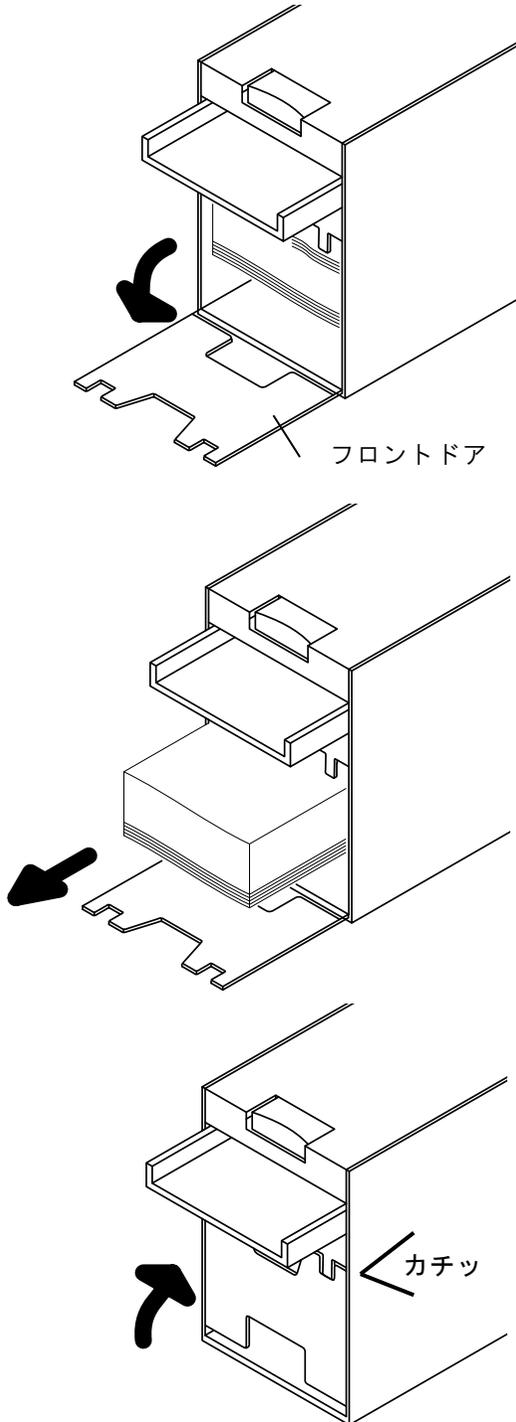
- ドアや引出し部を閉めるときは指をはさまないように注意してください。
けがの原因になります。
- ドアや引出し部を開けたままにしないでください。
けがの原因になります。



4.3 両替紙幣の回収方法

両替用紙幣識別機のフロントドアを開けて、収納部から紙幣を回収してください。

※) 紙幣が満杯になると、エラーコードを表示し両替中止になります。



1. フロントドアを手前に引いて開けてください。
2. 紙幣を収納部からまとめて抜き取ってください。
3. カチッと音がするところまで、フロントドアを閉じてください。

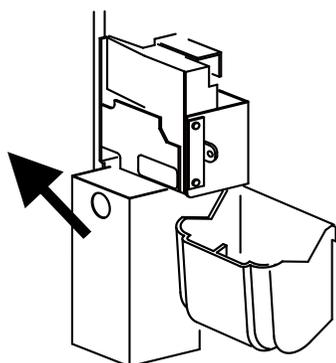
※) 回収後は、フロントドアを閉じ忘れないよう、ご注意ください。

※) フロントドアは所定のロック部より、奥へ無理に押し込まないでください。

※) 内部の部品に手をふれないようご注意ください。押え板の外れなどが無いか、ご確認ください。

※) 収納部内の紙幣、または異物の詰まり点検を行う場合は、収納されている紙幣を回収してから行ってください。

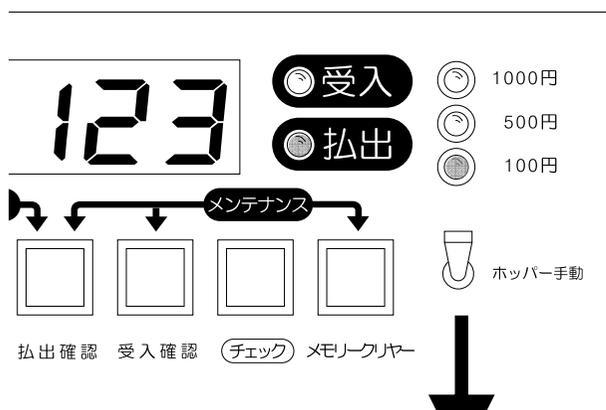
4.4 投入硬貨の回収方法



コインボックス

1. コインボックスを取り外し、投入された硬貨を取出してください。
2. 必ず、コインボックスを元通りに取り付けてください。

4.5 準備硬貨(ホッパー)の回収方法



2 秒以上、手前に倒して、手を離す

1. ホッパー手動スイッチを、2 秒以上手前に倒してください。その後、手を離すと払出しを開始します。
2. 表示部には払出した枚数が表示されます。また、払出LEDと100円LEDが点灯します。
3. もう一度手前に倒してから手を離すと、一旦停止します。再度手前に倒してから手を離すと払出しを継続します。
4. 硬貨が無くなると、自動的に停止します。
5. 両替機能に戻るには、リセットボタンを押してください。

※) 手動で払出した硬貨の枚数は、払出し合計枚数に加算されません。手動分を合算するか、手動分の硬貨をホッパーに戻してください。

注意

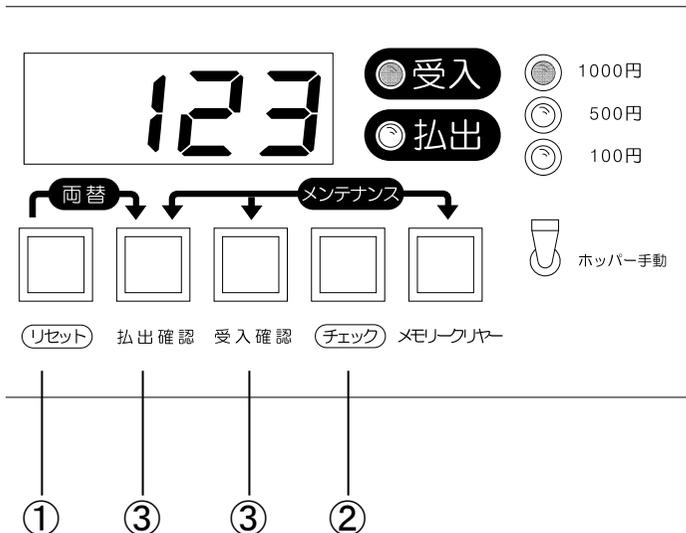
- 動作中のホッパーに触れないでください。けがの原因になります。



5 両替管理機能

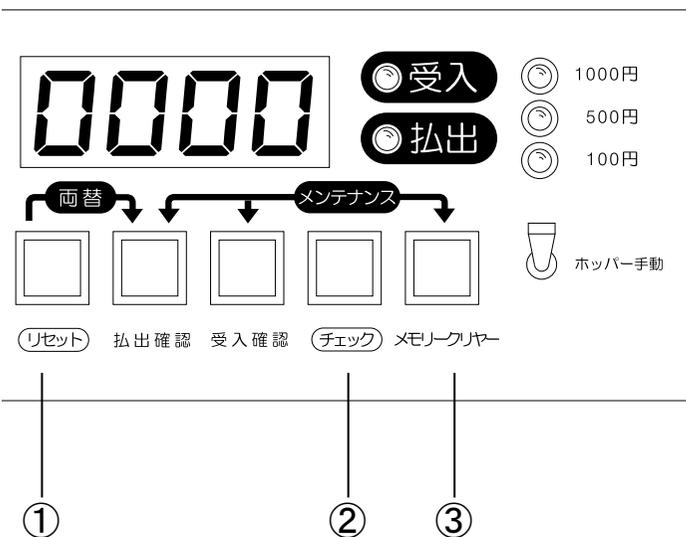
毎日あるいは毎月の業務にお使いいただくと便利です。

5.1 両替合計枚数の表示方法



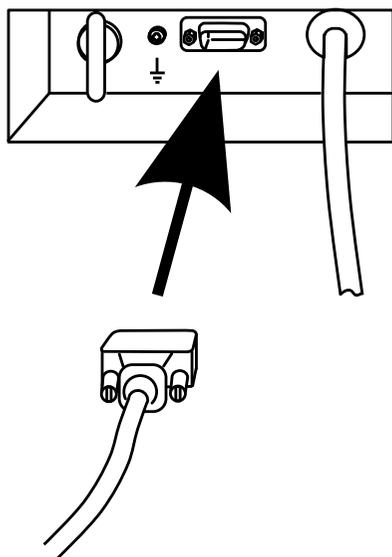
1. リセットボタンを押します。表示部は、----を表示します。
 2. チェックボタンを押します。表示部は、CHECを点滅表示します。
 3. ・払出確認ボタンを押すと、表示部に払出し合計枚数を表示します。
・受入確認ボタンを押すと、1000円の受入れ合計枚数を表示します。
・再度受入確認ボタンを押すと、500円の受入れ合計枚数を表示します。
 4. 両替機能に戻るには、リセットボタンを押してください。
- ※) 表示できる最大枚数は、9999までです。
- ※) 手動で払出した硬貨の枚数は、払出し合計枚数に加算されません。

5.2 両替メモリークリアの方法



1. リセットボタンを押します。表示部は、----を表示します。
 2. チェックボタンを押します。表示部は、CHECを点滅表示します。
 3. メモリークリアボタンを押します。表示部は、0000を3回点滅表示します。受入れ合計枚数、払出し合計枚数が、共に0にクリアされます。
 4. 両替機能に戻るには、リセットボタンを押してください。
- ※) 初めてお使いになるときやユニット交換をしたときは、メモリークリアを行ってください。
- ※) 未払いなどでメモリークリアするときは、先に合計枚数を表示させて、控えておいてください。

5.3 遠隔返金の方法



遠隔返金ユニットへ

1. 背面のTOSネット接続コネクタと遠隔返金ユニットを下記仕様のシリアルケーブルで接続します。

※)シリアルケーブルは製品に付属していませんので、別途用意してください。

シリアルケーブル仕様

- ストレート結線
- D-sub 9pin メス-メス (インチネジ)
- 最大ケーブル長 15m 以下

2. TOS ネットシステムにログインし、返金枚数を指定してください。TOS ネットシステム、および遠隔返金ユニットにつきましては、それぞれの説明書をお読みください。

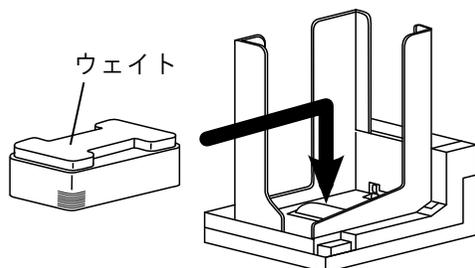
※) お客様が本機のそばにいることを確認してから、返金してください。横取りされる恐れがあります。

※)返金された硬貨をお客様に数えていただき過不足のないことを確認してください。

※) 返金された枚数は、払出し合計枚数には加算されません。業務の際には過去の返金履歴と突合せをしてください。

6 カード部の操作

6.1 カード払出の始め方



販売中の表示例

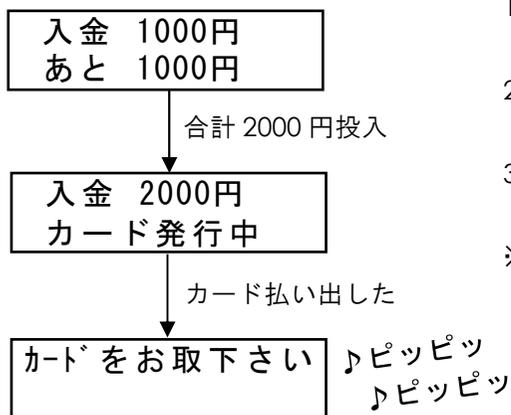
2000円カード
販売中!!

エラーの表示例

CE38 カード無し
補充して下さい

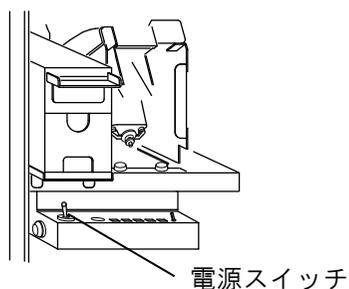
1. ドアキーでカギを外し、ドアを開けてください。
2. カード払出機にカードをセットしてください。
※) カードの貼りつきを防ぐために、カードの束を数回さばいてから、きちんと揃えてセットしてください。
3. ウェイトを必ず乗せてください。
4. サンプルカード入れに、見本のカードを入れてください。
5. 両替コントロールユニットの、電源スイッチを入れてください。カード表示部が販売中の表示になります。
※) 販売価格の変更は、7.2 項を読んでください。
※) 異常があるときは、エラーコード (CExx) と概要を表示します。エラーコード表に従って、異常を取り除いてください。
6. ドアを閉めてカギを掛け、ドアキーを抜いてください。

6.2 カード払出中の動作



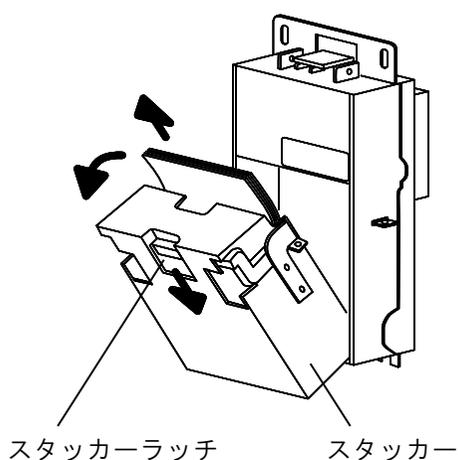
1. カード用紙幣投入口に紙幣が挿入されると、入金された金額と、あといくら必要かを表示します。
2. 入金された金額が販売価格に達すると、カードを払い出します。
3. 払い出しが終わると、表示と電子音でお知らせします。
※) 販売価格が 2000 円以上の場合、1 枚目の紙幣が挿入されたあと、30 秒以内に 2 枚目が挿入されないと、自動的に返金します。もしも返金できないときは、エラーを表示します。

6.3 カード払出終了の仕方



1. ドアキーでカギを外し、ドアを開けてください。
2. 次項に従って、紙幣を回収してください。
3. 両替コントロールユニットの電源スイッチを切ってください。
4. ドアを閉めてカギを掛け、ドアキーを抜いてください。

6.4 カード部紙幣の回収方法



カード用紙幣識別機のスタッカーを開けて、紙幣を回収してください。

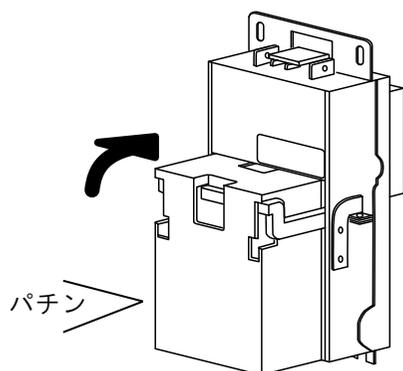
※) 紙幣が満杯になると、エラーコードを表示し、カード払出中止になります。

1. スタッカーラッチを押し下げ、スタッカーを手前に開けてください。
2. 紙幣を全部回収してください。
3. パチンと音がするまで、スタッカーを押し込んでください。

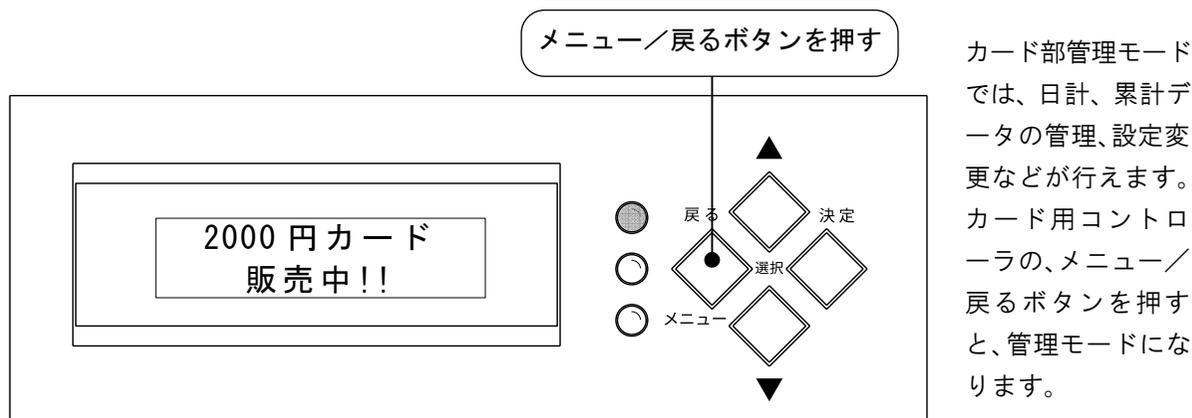
※) 回収後は、スタッカーを閉じ忘れないよう注意してください。

※) 内部の部品に手を触れないよう、注意してください。押え板の外れなどが無いか、確認してください。

※) スタッカーの点検を行う場合は収納されている紙幣を回収してから行ってください。

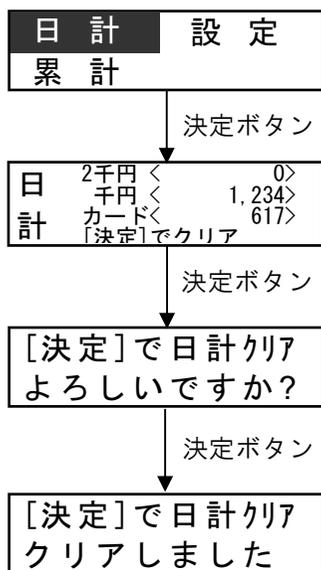


7 カード部管理モード



7.1 日計、累計の管理方法

日計の管理例



日計は毎日の、累計は毎月の業務にお使いいただくと便利です。

1. 上選択ボタン、または下選択ボタンで、日計あるいは累計を選んで、決定ボタンを押します。
2. 日計、または累計データが表示されます。数字は入金枚数と、払出枚数です。ノートなどに書き写してください。
※) 2000 円紙幣はオプション対応です。
3. メニュー／戻るボタンを押すと、ひとつ前の表示に戻ります。そうではなくて、決定ボタンを押すとデータをクリアする表示に進みます。
4. データを書き写したので、クリアしてもよければ、決定ボタンを押してください。まだ書き写していなければ、メニュー／戻るボタンで戻って、書き写してください。
5. 終わったら、メニュー／戻るボタンで販売中の表示まで戻ってください。

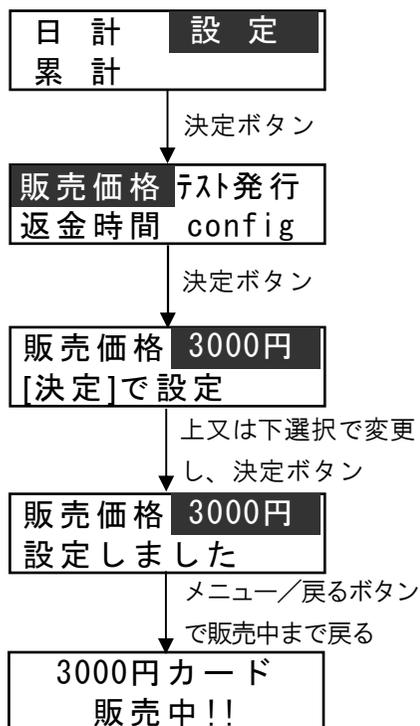
※) クリアしたデータは元に戻せません。必ずノートなどに書き写してください。

※) 表示できる最大枚数は 999,999,999 までです。

※) 初めてお使いになるときや、ユニット交換をしたときなどは、データのクリアを行ってください。

7.2 販売価格の変更方法

販売価格の変更例



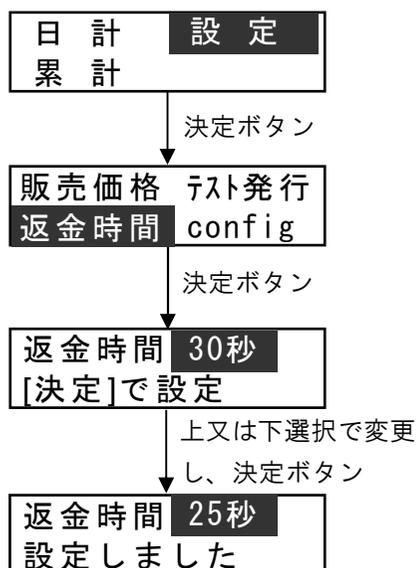
販売価格は、1000円から5000円まで、1000円刻みで変更できます。初期値は2000円です。

※) 販売価格を変更する前に、必ず日計と累計をクリアしておいてください。クリアせずに販売価格を変更すると、データの整合性が失われます。

1. 管理モードで、上選択ボタン、または下選択ボタンで、設定を選んで、決定ボタンを押します。
2. 上選択ボタン、または下選択ボタンで、販売価格を選んで、決定ボタンを押します。
3. 上選択ボタン、または下選択ボタンで、価格が変更できます。設定したい価格になったら、決定ボタンを押します。
4. 終わったら、メニュー/戻るボタンで販売中の表示まで戻ってください。価格が変更されています。
5. サンプルカード入れの見本カードを入れ替えてください。

7.3 返金時間の変更方法

返金時間の変更例



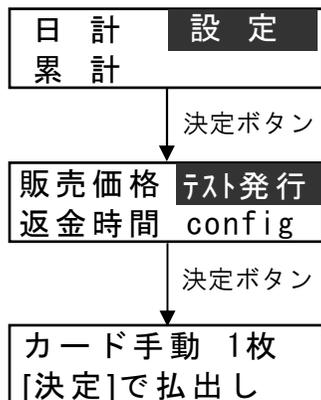
販売価格が2000円以上の場合、1枚目の紙幣が挿入されたあと、30秒以内に2枚目が挿入されないと自動的に返金します。この時間を変更することができます。

※) 20~40秒程度を推奨します。

1. 管理モードで、上選択ボタン、または下選択ボタンで、設定を選んで、決定ボタンを押します。
2. 上選択ボタン、または下選択ボタンで、返金時間を選んで、決定ボタンを押します。
3. 上選択ボタン、または下選択ボタンで、時間が変更できます。設定したい時間になったら、決定ボタンを押します。
4. 終わったら、メニュー/戻るボタンで販売中の表示まで戻ってください。

7.4 カードのテスト発行の方法

テスト発行の例

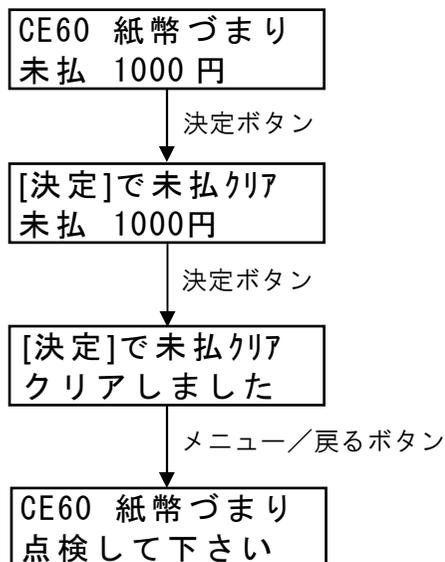


カード払出機の動作確認ができます。

1. 管理モードで、上選択ボタン、または下選択ボタンで、設定を選んで、決定ボタンを押します。
 2. 上選択ボタン、または下選択ボタンで、テスト発行を選んで、決定ボタンを押します。
 3. 決定ボタンを押すと、カードが1枚払い出されます。
 4. 終わったら、メニュー/戻るボタンで販売中の表示まで戻ってください。
- ※) テスト発行した枚数は、日計および累計に含まれませんので、カード払出機に戻してください。

7.5 未払いのクリア方法

未払いクリアの例



エラーが発生したとき、未払いが表示されることがあります。下記の要領で未払いクリアをしてください。

1. 表示された未払い金額を利用者様にお渡しした上で、決定ボタンを押します。
2. もう一度決定ボタンを押すと、未払いデータをクリアします。
3. 終わったら、メニュー/戻るボタンで販売中の表示まで戻ってください。まだエラーが表示されていたら、異常を取り除いてください。

8 日常のお手入れ

警告

- 濡れた手で電源プラグやスイッチを操作しないでください。
感電の恐れがあります。 
- 製品内部の電気部品は、雨水や清掃時の水などで濡れないようにしてください。
水で濡れると感電の恐れがあります。

8.1 設置状況の点検

1. 電源プラグおよびコンセントをこまめに清掃してください。
2. 設置面のガタツキや固定金具のゆるみがないか、6ヶ月に一度、点検してください。
3. その他、何らかの異常が起きていないか点検してください。

8.2 警報ブザーの点検

両替コントロールユニット内の充電式電池が消耗すると、電源スイッチを切った状態でブザーが鳴らなくなります。1ヶ月に一度、電源スイッチを切った状態でブザーが鳴るか点検してください。

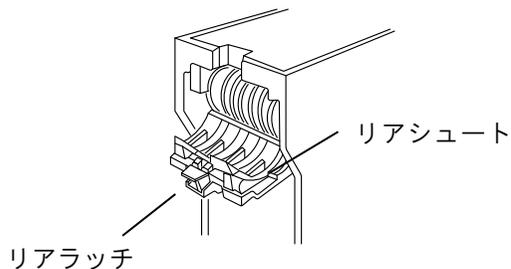
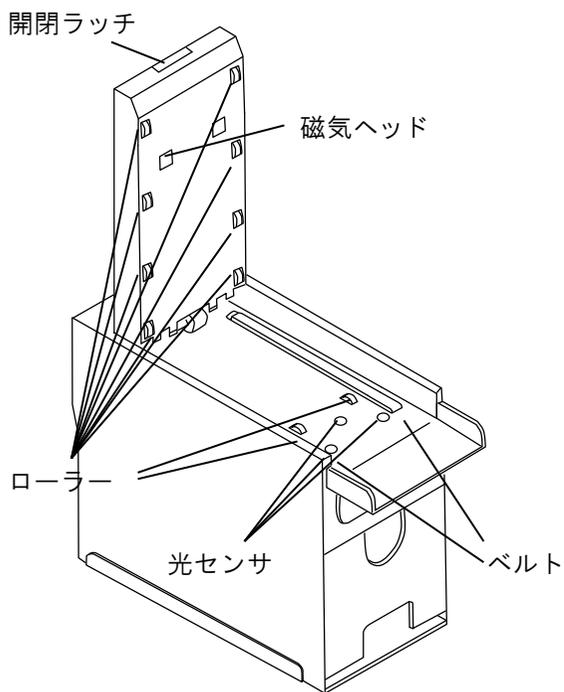
8.3 外装部のお手入れ

キャビネットなどの汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めて柔らかい布に浸し、よく絞ってから拭いてください。シンナー、ベンジン、磨き粉などは塗装を傷めますので使用しないでください。

注意

- 設置場所の据付面のガタツキや固定金具のゆるみなどを定期的に点検してください。異常がある場合は、専門の自動販売機設置業者またはお買上先へ修繕を依頼してください。
不完全な設置状態のまま使用すると、 転倒事故の原因になります。
- 電源プラグ・コンセントは定期的に清掃してください。また、プラグの刃の部分は確実にコンセントに差し込んでください。
汚れや差込み不足は火災の原因  になります。
- 電源プラグの脱着は、プラグの部分を持って行なってください。
火災の原因になります。
- 製品内部の清掃などを行う場合は、必ず電源スイッチを切ってください。
電源スイッチを切らずに作業すると感電、けがの原因になります。 
- 製品の汚れを取る時は、シンナー、ベンジンなどの化学薬品を使用しないでください。
事故の発生原因になります。 

8.4 両替用紙幣識別機のお手入れ



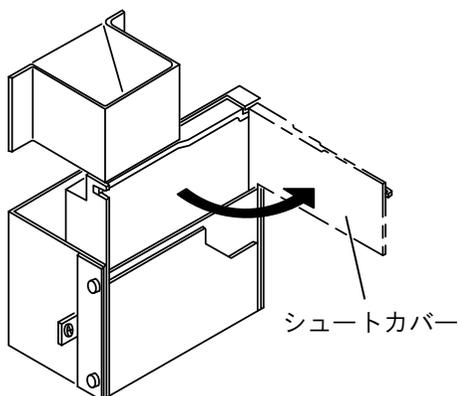
紙幣識別機の識別部や搬送部などの通路に紙幣の汚れ、ホコリ、チリ、ゴミなどの異物が付着し、汚れがひどくなると正常な識別、動作性能が維持できなくなります。1～3ヶ月に一度、使用状況に合わせて清掃してください。紙幣詰まりが起きたときは取り除いてください。

1. 開閉ラッチを引き上げながら識別シュートを上方向に上げてください。
2. ベルト、ローラーは、柔らかい布や綿棒で汚れを拭き取ってください。
3. 磁気ヘッド、光センサは綿棒で汚れを拭き取ってください。汚れがひどいときは、エタノールをつけて拭き取ってください。
4. 紙幣識別機背面のリアラッチを押してリアシュートを開け、柔らかい布や綿棒で汚れを拭き取ってください。

※) ベルト、ローラーには絶対に油、グリスなどをつけないでください。

※) 磁気ヘッド、光センサは、ドライバーなどの金属物で触れないでください。

8.5 両替用硬貨選別機のお手入れ



硬貨選別機は、硬貨の汚れ、ホコリ、チリ、ゴミなどの異物が付着し、汚れがひどくなると正常な選別機能が維持できなくなります。1～3ヶ月に一度、使用状況に合わせて清掃してください。硬貨詰まりが起きたときは取り除いてください。

1. シュートカバーを矢印の方向に開いてください。
2. 硬貨の通路を柔らかい布や綿棒で汚れを拭き取ってください。
3. 汚れがひどいときは、エタノールをつけて拭き取ってください。

8.6 ホッパーのお手入れ

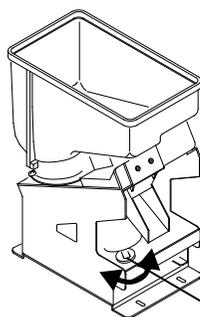
注意

- 製品内部の清掃などを行う場合は、必ず電源スイッチを切ってください。電源スイッチを切らずに作業すると感電、けがの原因になります。



注意

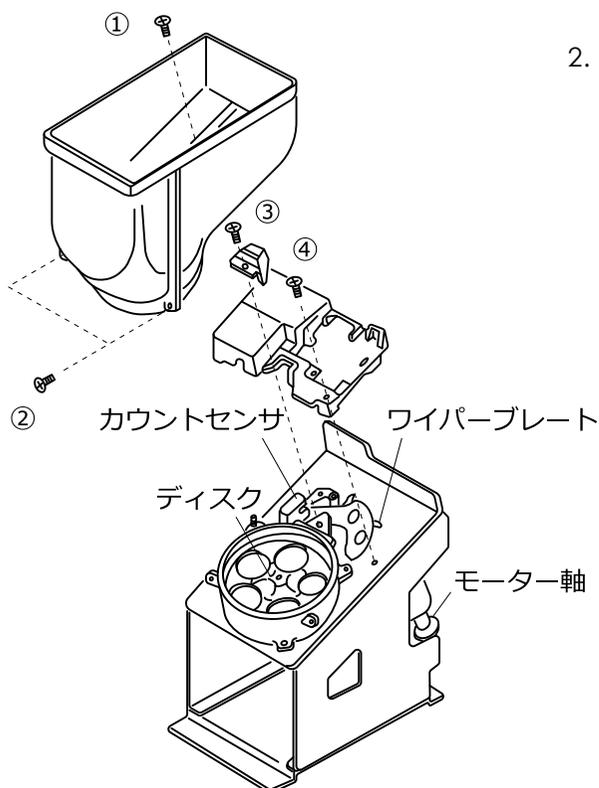
- 動作中のホッパーに触れないでください。けがの原因になります。



モーター軸

ホッパーに変形硬貨や異物が詰まったときは、下記の手順に従って異物を取り除いてください。

1. モーター軸を手で回してみてください。
モーター軸を正転・逆転させてください。両方向に回転するようなら、製品の電源スイッチを入れなおし、ホッパー手動スイッチでモーターを小刻みに回転させてみてください。振動で、異物がディスクから外れます。



2. それでも解除出来ない場合は、図のように、ホッパーを解体し食い込んだ異物を取り除いてください。
ネジを①から④の順番に外し、ディスクまたはワイパーブレードに食い込んだ異物を取り除いてください。

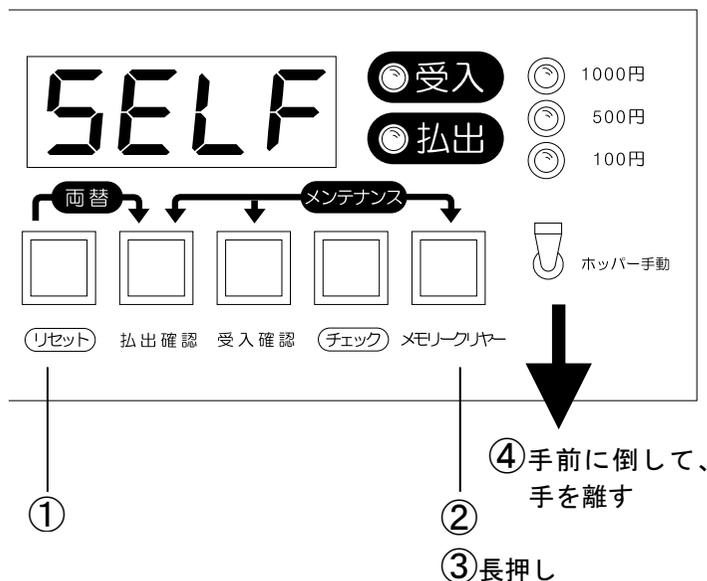
注意

- ホッパーのカウントセンサには絶対手を触れないでください。払出し枚数が狂う原因になります。

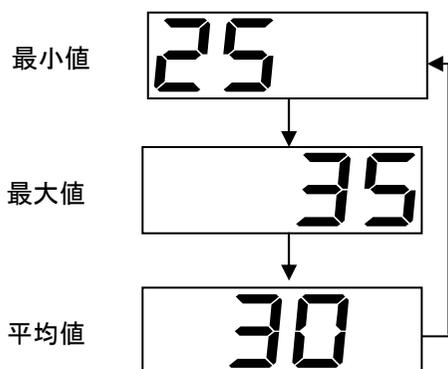


8.7 ホッパーのセルフチェック

ホッパーのカウントセンサが正常に動作するか、セルフチェック機能で調べることができます。異物を取り除いた後などに検査してください。



1. リセットボタンを押します。表示部は、**----**を表示します。
2. チェックボタンを押します。表示部は、**CHEC**を点滅表示します。
3. チェックボタンを5秒以上押し続けます。表示部は、**SELF**の点滅表示に変わります。
4. ホッパー手動スイッチを手前に倒してから手を離すと、自動的に硬貨を10枚払い出して、センサの測定結果を表示します。
5. 再度ホッパー手動スイッチを手前に倒してから手を離すと、同じ動作を繰り返します。
6. 両替機能に戻るには、リセットボタンを押してください。



● 測定値の判定

| | |
|-----|------|
| 最大値 | 40 |
| 平均値 | 30±5 |
| 最小値 | 20 |

※) 測定値は、硬貨がセンサを通過した時間です。

※) 測定は2回以上繰り返した値で判定してください。

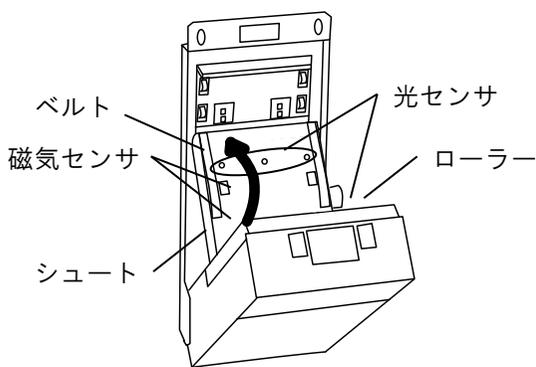
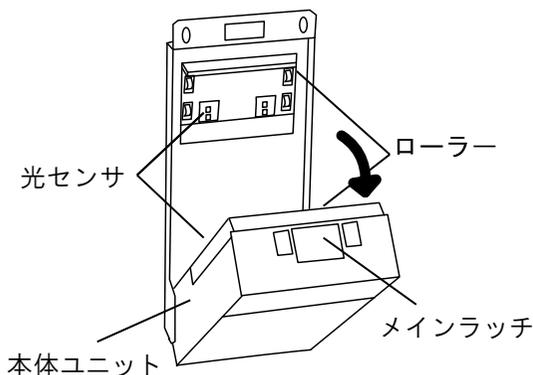
1回だけだと不安定な値になる可能性があります。

※) ここで払出した硬貨の枚数は、払出し合計枚数には加算されません。

- ・ 平均値に入らない場合は、センサの取付けがズレているため再調整を依頼してください。
- ・ 最大値と最小値との差が狭いほど安定しています。最大最小の範囲に入らない場合は、ディスクの取付けネジがゆるんでいる可能性があります。
- ・ 最大最小の範囲に入らない場合は、ホッパーの経年変化が進んでいる可能性があります。速やかに新しい物に交換してください。
- ・ 最小値から外れた物は、センサがカウントをしなくなり、硬貨を多く払出す場合があります。
- ・ 最大値から外れた物は、センサがダブルカウントをして、硬貨を少なく払出す場合があります。

8.8 カード用紙幣識別機のお手入れ

紙幣識別機の識別部や搬送部などの通路に紙幣の汚れ、ホコリ、チリ、ゴミなどの異物が付着し、汚れがひどくなると正常な識別、動作性能が維持できなくなります。1～3 ヶ月に一度、使用状況に合わせて清掃してください。紙幣詰まりが起きたときは取り除いてください。



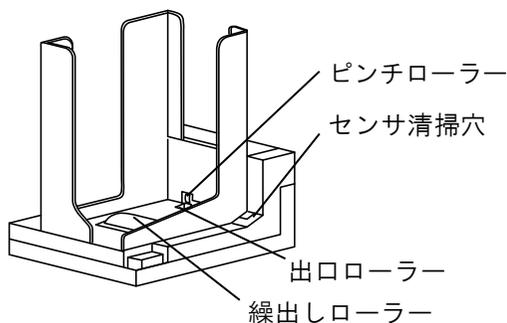
1. メインラッチを押し下げ、本体ユニットを開いてください。
2. 光センサ、ローラー、ベルトなどを柔らかい布や綿棒で汚れを拭き取ってください。開いた側にもありますので、同様に汚れを拭き取ってください。汚れがひどいときは、エタノールをつけて拭き取ってください。
3. シュートを矢印の方向に開いてください。
4. 光センサ、ローラー、ベルトなどを柔らかい布や綿棒で汚れを拭き取ってください。開いた側にもありますので、同様に汚れを拭き取ってください。汚れがひどいときは、エタノールをつけて拭き取ってください。

※) ベルト、ローラーには絶対に油、グリスなどをつけないでください。

※) 磁気センサ、光センサはドライバーなどの金属物で触れないでください。

8.9 カード払出機のお手入れ

カード払出機のセンサやローラーなどの汚れがひどくなると、カード詰まりや異常の原因になります。1～3 ヶ月に一度、使用状況に合わせて清掃してください。カード詰まりが起きたときは取り除いてください。



1. センサ清掃穴から、エアダスターなどでホコリを除去してください。
2. 各ローラーを柔らかい布や綿棒で汚れを拭き取ってください。汚れがひどいときは、エタノールをつけて拭き取ってください。

9 ユニットの取り外し方

⚠ 注意

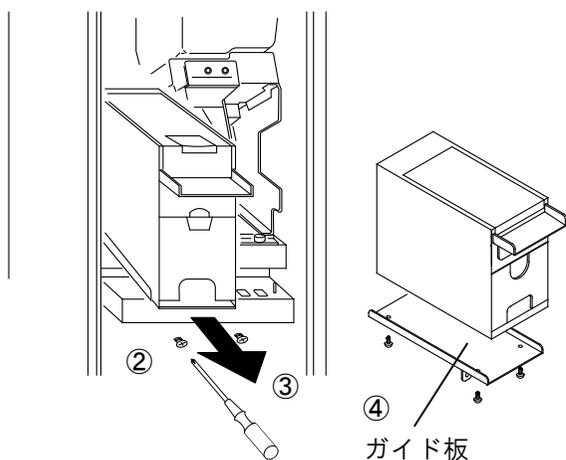
- ユニットを取り外すときは、電源プラグを必ずコンセントから抜いておいてください。 感電や事故の発生原因になります。

⚠ 注意

- 製品内部の清掃などを行う場合は、必ず電源スイッチを切ってください。電源スイッチを切らずに作業すると感電、けがの原因になります。

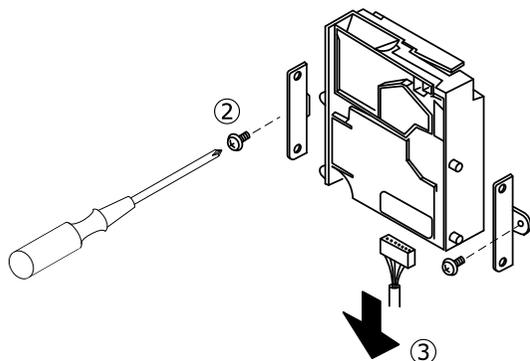
お手入れなどで内部のユニットを取り外すときは、下記の手順に従ってください。

9.1 両替用紙幣識別機の取り外し方



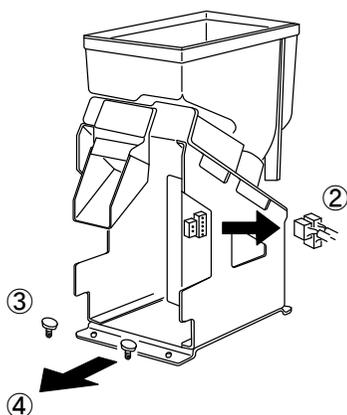
1. 電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
2. 識別機下側の取り付けネジ 2 本を外してください。
3. 識別機を手前に引き出してください。
4. 識別機からガイド板を取り外してください。

9.2 両替用硬貨選別機の取り外し方



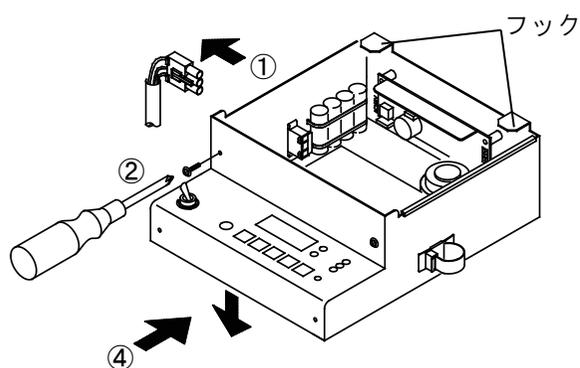
1. 電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
2. 両側の固定板を外してください。
3. 硬貨選別機のコネクタを外してください。

9.3 ホッパーの取り外し方



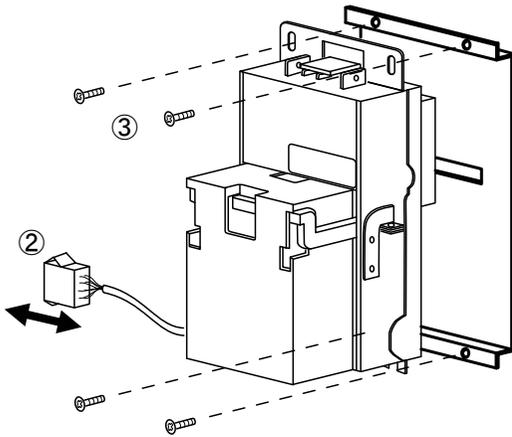
1. 電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
2. ホッパーからコネクタを外してください。
3. ホッパー固定ネジ 2 本を外してください。
4. ホッパーの手前側を少し持ち上げながら、手前に引き出してください。

9.4 両替コントロールユニットの取り外し方



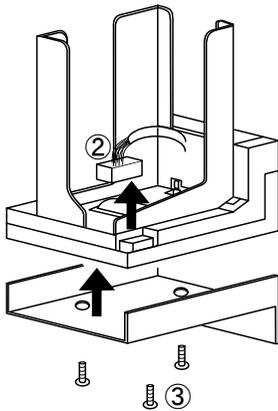
1. 電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、電源入力のコネクタを外してください。
2. 取付けネジ 2 本を外してください。フックが引っ掛かった状態でユニットはぶら下がります。
3. コントロールユニットに接続しているコネクタを外してください。
4. ユニートを水平にして、奥へスライドさせるとフックが外れます。

9.5 カード用紙幣識別機の取り外し方



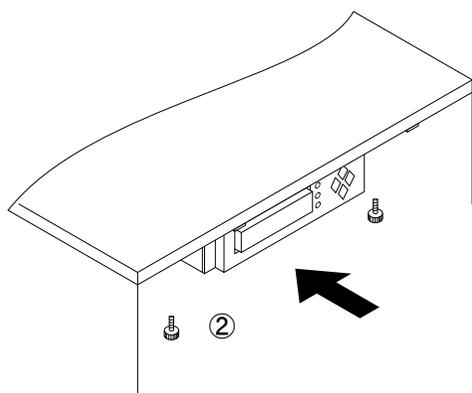
1. 電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
2. 識別機のコネクタを外してください。
3. ドライバーで取付けネジ 4 本を外してください。

9.6 カード払出機の取り外し方

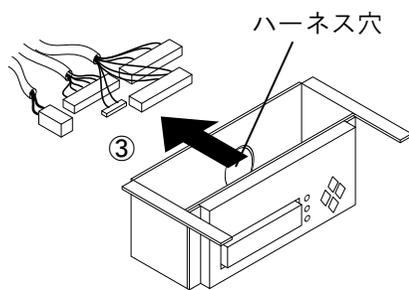


1. 電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
2. 払出機のコネクタを外してください。
3. ドライバーで取付けネジ 3 本を外してください。

9.7 カード用コントローラの取り外し方



1. 電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
2. 手回しネジ 2 本を外し、コントローラを奥にスライドさせて外してください。
3. コネクタ 5 個を外し、ハーネス穴から引き出してください。



10 異常が発生した時は

警告

- 製品に異常を感じた時は、必ず電源プラグを抜くか電源スイッチを切り、専門の修理業者またはお買上先に連絡してください。そのまま放置すると事故発生の恐れがあります。
- 製品が災害等で水没した場合、電気部品・配線は、必ず新しいものと交換してください。交換しないと火災、感電の恐れがあります。

注意

- 修理は、専門の修理業者またはお買上先へ依頼してください。不完全な修理は、火災や感電の原因になります。
- 貨幣の詰り除去などの場合は、本書の記載内容に従って操作してください。記載内容以外の操作をすると事故の発生原因になります。

両替部に異常が発生した時は、両替コントロールユニットの表示部にエラーコードが表示されますので、両替コントロールユニットのエラーコード表に従って異常を取り除いてください。

カード部に異常が発生した時は、カード用コントローラのカード表示部にエラーコードが表示されますので、カード用コントローラのエラーコード表に従って異常を取り除いてください。

※) 処置できない場合は、お買上げの販売店までご連絡ください。

※) 修理を依頼されるときは使用状況や故障内容など、できるだけ詳しくお知らせください。

10.1 両替コントロールユニットのエラーコード表

| エラーコード | エラー原因 | 処置要領 |
|------------|---------------------------|---|
| ---- | 電源を入れたとき、----の表示が出れば正常です。 | 払出確認ボタンを押すと両替機能になります。何もしないと、10秒後自動的に両替機能  に切り替わります。 |
| E--1 | データ保存に失敗しました。 | メモリクリアを実行後、再スタートしてください。 |
| E--2 | ホッパー内の硬貨不足です。 | 硬貨を補充してください。 |
| E--3 *) | ホッパーから硬貨が多く払い出されました。 | 点減数字は払出し過ぎた硬貨の枚数です。 ホッパーセルフチェックを実行してカウントセンサに異常がないか確認後、再スタートしてください。 |
| E--4 | ホッパーから硬貨が出かかっています。 | ホッパー手動スイッチを操作して、出かかった硬貨を払出してください。 カウントセンサにゴミ等の付着がないか点検後、再スタートしてください。 |
| E--5 | 紙幣識別機の異常です。 | 紙幣識別機を点検して紙幣詰まりなどを取り除いてください。 |
| E--7 *) | ホッパー内で硬貨が詰まりました。 | 点減数字は硬貨の未払い枚数です。 未払い金額を利用者様にお渡しした上で、ホッパーを点検して硬貨詰まりや異物等を取り除いてください。 メモリクリアを実行後、再スタートしてください。 (メモリクリアせずに再スタートすると E-12 または E-13 に移行します) |
| E--8 | 硬貨選別機の異常です。 | 硬貨選別機を点検して詰まりなどを取り除いてください。 |
| E-10 | 紙幣が満杯です。 | 紙幣を回収してください。 |
| E-11 *) | 手動払出中に硬貨が詰まりました。 | 点減数字は払出した硬貨の枚数です。 ホッパーの硬貨詰まりや異物等を点検後、再スタートしてください。 |
| E-12 | 紙幣両替中停電が発生しました。 | 点減数字は硬貨の未払い枚数です。 |
| E-13 | 硬貨両替中停電が発生しました。 | 未払い金額を利用者様にお渡しした上で、メモリクリアを実行後、再スタートしてください。 |
| E-14 | ホッパー手動スイッチの故障です。 | ホッパー手動スイッチが ON のままです。販売店へ連絡してください。 |
| E-15 | 硬貨選別機の信号異常です。 | 硬貨選別機とコントロールユニットの接続ケーブルが確実に接続されているか点検後、再スタートしてください。 |
| E-16 | 硬貨選別機の初期化失敗です。 | 硬貨選別機とコントロールユニットの接続ケーブルが確実に接続されているか点検後、再スタートしてください。 |
| E-17 | 紙幣識別機の初期化失敗です。 | 紙幣識別機とコントロールユニットの接続ケーブルが確実に接続されているか点検後、再スタートしてください。 |

※) 未払いなどでメモリクリアするときは、先に合計枚数を表示させて、控えておいてください。

*) これらのエラーのときは遠隔返金できません。その他のエラーのときは遠隔返金が可能です。

10.2 カード用コントローラのエラーコード表

| エラーコード | エラー原因 | 処置要領 |
|------------|----------------------------------|---|
| CE01 | データ保存に失敗しました。 | データクリアを実行してください。 |
| CE02 | カード払出中に停電が発生しました。 | 表示された未払い金額を利用者様にお渡しした上で、決定ボタンを押して、未払いクリアを実行してください。 |
| CE04 | 価格の保存に失敗しました。 | 価格設定を実行してください。 |
| CE08 | 入金待ちの時間切れ返金ができませんでした。 | 表示された未払い金額を利用者様にお渡しした上で、決定ボタンを押して、未払いクリアを実行してください。 |
| CE35 ★) | カードが詰まりました。 | カード払出機を点検してカード詰まりなどを取り除いてください。 |
| CE36 | カードの繰出しに失敗しました。 | 表示された未払い金額を利用者様にお渡しした上で、決定ボタンを押して、未払いクリアを実行してください。 カード払出機の繰出しローラーの汚れ、ウェイトの乗せ忘れなどを点検後、電源を再投入してください。 |
| CE37 | カード送出センサの異常です。 | 表示された未払い金額を利用者様にお渡しした上で、決定ボタンを押して、未払いクリアを実行してください。 カード払出機の送出センサの汚れ、異物などを点検後、電源を再投入してください。 |
| CE38 | カードがありません。 | カードを補充してください。またはウェイトの乗せ忘れがないか点検してください。 |
| CE58 ☆) | カード用紙幣識別機の異常です。 | 紙幣詰まりなどを点検後、電源を再投入してください。 |
| CE59 ☆) | カード用紙幣識別機との通信ができません。 | コネクタ抜けなどを点検後、電源を再投入してください。 |
| CE60 ☆) | カード用紙幣識別機で挿入紙幣が詰まりました。 | 紙幣詰まりなどを点検後、電源を再投入してください。 |
| CE61 ☆) | カード用紙幣識別機で返却中の紙幣が詰まりました。 | |
| CE62 ☆) | カード用紙幣識別機で紙幣が満杯、または紙幣スタッカーの異常です。 | 紙幣を回収してください。それでも解除されない場合は紙幣スタッカーの取付けなどを点検後、電源を再投入してください。 |
| CE63 ☆) | カード用紙幣識別機で、紙幣スタッカーが開いています。 | 紙幣スタッカーを閉めてください。 |

★) 点検せずに遠隔返金する場合は、その後の挙動に不審点（無理にカードを引き抜く等）がないか、監視カメラで見守ってください。

☆) 未払いが表示された場合には、未払い金額を利用者様にお渡しした上で、決定ボタンを押して、未払いクリアを実行してください。

11 保管と廃棄について

|  注意 | |
|---|---|
| ● 長期間使用しないときは、電源プラグを必ずコンセントから抜いておいてください。 事故の発生原因になります。 |  |
| ● 製品の保管時は、必ず施錠してください。 施錠しないと事故の発生原因になります。 |  |
| ● 保管時は、製品を積上げないでください。 転倒事故、けがの原因になります。 |  |

|  注意 | |
|---|---|
| ● 製品を廃棄する場合は、金銭ユニットを取り外し、粉碎等の適切な処理後廃棄してください。 金銭ユニットの流出は偽造犯罪の原因になります。 |  |
| ● 製品を廃棄する場合は、錠前を破棄してください。 破壊しないと事故の発生原因になります。 |  |

紙幣、カード、硬貨の識別装置の流出は、不正使用や偽造犯罪の主要な原因となります。製品を廃棄する場合はこれらのユニットを取り外し、粉碎等の適切な処理を行って廃棄してください。

※) 粉碎等の処理ができない場合は弊社にご連絡ください。適正に処理し、廃棄致します。

12 保証について

保証書の記載内容に基づき、保証修理を行います。保証書をよくお読みください。

※) 保証書は再発行しませんので、無くさないようにしてください。

13 一般仕様

| | | | | |
|-------------|--|--|---------|-----|
| 両替機能 | 1000 円紙幣 → 100 円硬貨 × 10 枚 500 円硬貨 → 100 円硬貨 × 5 枚 | | | |
| 紙幣識別機 | 受入紙幣 受入率 紙幣挿入方向 スタッカー収納枚数 | 1000 円紙幣 (2004 年発行開始の野口英世像) 90%以上 長手 表・裏 4 方向 約 500 枚 | | |
| 硬貨選別機 | 受入硬貨 受入率 コインボックス収納枚数 | 500 円硬貨 (2000 年発行開始の新 500 円) 90%以上 約 200 枚 | | |
| 硬貨準備枚数 | 100 円硬貨 | 約 6000 枚 | | |
| 遠隔返金機能 | 通信インターフェース 返金種 返金枚数 | RS-232C 準拠 (遠隔返金ユニットと接続) 100 円硬貨 1 回のコマンドにつき、1~20 枚 | | |
| カード払出機能 | 適用カード * 1) | 幅 : 53.8~57.5 mm 長さ : 84.8~85.8 mm 厚み : 0.2~0.8 mm 材質 : PET | | |
| | カード収納枚数 | 80~300 枚 (厚み 0.78~0.22 mm) | | |
| | 販売価格 | 1000 円~5000 円 (1000 円単位で変更可能) | | |
| | 受入紙幣 紙幣挿入方向 スタッカー収納枚数 | 1000 円紙幣 (2004 年発行開始の野口英世像) 長手 表・裏 4 方向 約 400 枚 | | |
| 電源 | AC100V±10%、50/60Hz (アース端子付) | | | |
| 消費電力 | 定格 20W | | | |
| 外形寸法 | 本体 | 340(幅) × 370(奥) × 1450(高) mm | | |
| 重量 | 約 49kg | | | |
| 使用環境条件 | 温度 5 ~ 40°C、湿度 20 ~ 80% (結露なきこと) | | | |
| 設置場所 | 屋内 | | | |
| 付属品 * 2) | 取扱説明書 (本書) | 1 部 | コインボックス | 1 個 |
| | ドアキー | 2 個 | 保証書 | 1 枚 |
| | ウェイト | 1 個 | 統一ステッカー | 1 枚 |

* 1) カードはご注文時に指定した種類をお使いください。違うカードは詰まりの原因になります。

* 2) 遠隔返金ユニットとの接続ケーブルは付属しません。別途ご用意ください。

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing, consisting of 20 lines.

販売元

株式会社 TOSEI

| | | |
|--------------------|--------------------------------|------------------|
| 本社・工場 | ●〒410-2325 静岡県伊豆の国市中島 244 | 0120-557-338 |
| 東京支社 | ●〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-24-2 | (03)6422-7290(代) |
| 中部支店 | ●〒465-0032 愛知県名古屋市名東区藤が丘 141 | (052)772-3988(代) |
| 関西支店 | ●〒564-0051 大阪府吹田市豊津町 30-28 | (06)6338-9601(代) |
| 九州支店 | ●〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 2-8-3 | (092)482-6613(代) |
| 東北営業所・広島営業所・鹿児島営業所 | | |

●ホームページのアドレス <http://www.tosei-corporation.co.jp/>

製造元

株式会社 BOSTEC

本社 〒318-0022 長野県長野市大字大豆島 3397-16 大豆島東工業団地
TEL (026)221-2228(代) FAX (026)221-3600

2020/01 Rev. 1.1.2